

TēPs フレーズ基礎セミナー

「コネクション」から「ループ」の設定まで
フレーズがつくれる！ TēPs 講座

10.27

木

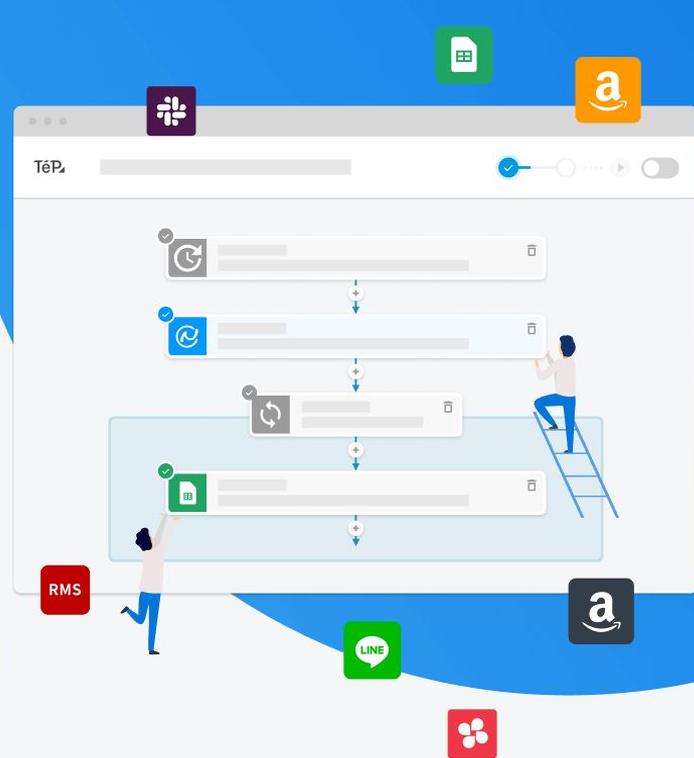
16:00-17:00

WEBセミナー



テープス株式会社
カスタマーサクセスチーム マネージャー

小原 健



WEBセミナー開始まで今しばらくお待ちください

第 1 部

ごあいさつ

登壇者紹介



テープス株式会社

カスタマーサクセスチーム マネージャー

小原 健 Takeshi Obara

経歴

出版社に勤務後、労務管理、調剤薬局向けのクラウドサービスのカスタマーサクセス(CS)職を担当。

その後、2021年11月よりTēPs事業のCS職に従事。日ごろから、TēPsに関するお客様のお問い合わせや運用相談に対応している。

趣味

スポーツ、トレーニング

第 2 部

TēPs フレーズの動作イメージ

3つの利用ステップ

取得

各システムから
情報を取得する



受注伝票を検索



受注を検索



行を検索



レポートドキュメントを取得

加工

情報を取捨選択、
変換する



条件で処理を分岐



エコーを変更

処理

情報を処理する



商品の在庫情報を更新



受注伝票を更新



商品情報を更新



行を追加

第 3 部

ノート解説

情報を取得するノート

情報を取得するノート

取得

各システムから
情報を取得する



受注伝票を検索



受注を検索



行を検索



レポートドキュメントを取得

加工

情報を取捨選択、
変換する



条件で処理を分岐



エコーを変更

処理

情報を処理する



商品の在庫情報を更新



受注伝票を更新



商品情報を更新



行を追加

情報を取得するノート



受注伝票を検索 [ヘルプセンターの記事](#)

フィールド、条件、値を設定する

- ・ フィールド
- ・ 条件
- ・ 値

伝票の検索条件

フィールド*	条件の種類*
受注状態区分	のうちのどれか
値*	
起票済(CSV/手入力) 他1件	

日付の検索条件を設定する

- ・ フィールド
- ・ 条件
- ・ 値：「実行時に計算」、「特定の日時を指定」

伝票の検索条件

フィールド*	条件の種類*				
出荷予定日	等しい				
実行時に計算					
基準とする日時*	日	時	分	後	
<input type="button" value="echoを選択"/>	よりも	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

情報を取得するノート

RMS

受注を検索

[ヘルプセンターの記事](#)

日付の検索条件を設定する

- ・ 期間検索種別
- ・ 期間検索開始日時
- ・ 期間検索終了日時

期間検索種別 *

注文日



期間検索開始日時 *

特定の日時を指定



2022/10/01 00:00

期間検索終了日時 *

特定の日時を指定



2022/10/31 00:00

情報を取得するノート



行を検索

列で条件を指定し、
合致する行の情報を取得する

- ・ 列
- ・ 条件
- ・ 値

[ヘルプセンターの記事](#)

スプレッドシート ID* ⓘ

ワークシート名*

検索条件

列*	条件*
<input type="text" value="伝票番号"/>	<input type="text" value="空でない"/>
列*	条件*
<input type="text" value="伝票反映済"/>	<input type="text" value="空"/>

情報を取得するノート

Q. 「実行時に計算」、「特定の日時を指定」とはどのような意味？

A. フレーズ実行のたびに変動する項目で検索するか、不変の項目で検索するかの違いがあります。

実行時に計算

「現在時刻」エコーや、事前に取得したエコーを使い、動的に検索条件を変更します。
たとえば、「受注日」が「現在時刻」よりも「2日前」と設定した場合、今日のフレーズ実行では一昨日～今日を、明日のフレーズ実行では昨日～明日を検索します。

特定の日時を指定

カレンダーピックから、特定の日付を指定します。
たとえば、「期間検索開始日時」に「2022年10月25日」を指定した場合、フレーズがいつ実行されたとしても、2022年10月25日以降を対象に検索します。
時間経過とともに、検索範囲が膨大となり、情報を取得しきれない可能性が出てきます。

情報を取得するノート

実行時に計算（現在時刻より 2 日前 以上）



特定の日時を指定（2 日前の日時「10 月 25 日」 以上）

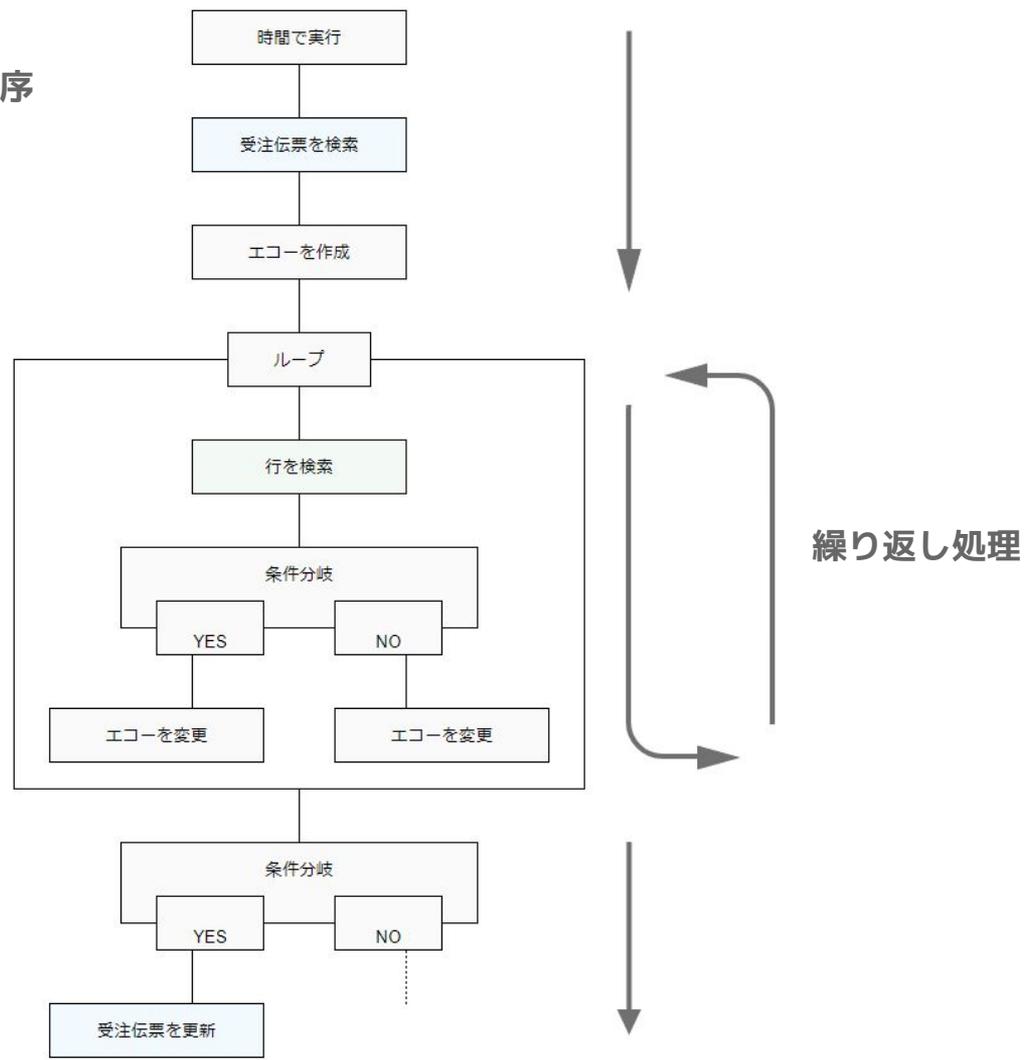


第 3 部

ノート解説

「ループ」ノート

「ループ」ノート利用時の処理順序



ループ



フロー
ループ 



 メモを残す

シーケンス*

 echoを選択

ループ内でエラーが発生したときの制御*

次のループ処理へスキップ (CONTINUE) 

[ヘルプセンターの記事](#)

役割

- ・ 取得したデータに対して、繰り返し同じ処理を行うためのノート。
- ・ 「繰り返しの処理が必要」なエコーの型は決まっている（配列型）。
- ・ 配列型エコーの見分け方

▼ [] 受注伝票リスト

設定方法

- ・ 「echo を選択」には、配列型エコーを選択する。

ループ

ループ内でエラーが発生したときの制御*

次のループ処理へスキップ (CONTINUE) ▼

ループを抜ける (BREAK)

次のループ処理へスキップ (CONTINUE)

フレーズの実行を中止する (TERMINATE)

ループ内でエラーが発生したときの制御

1 : ループを抜ける (BREAK)

その後のループ内の処理は行われない。
次のノートの処理に移行する。

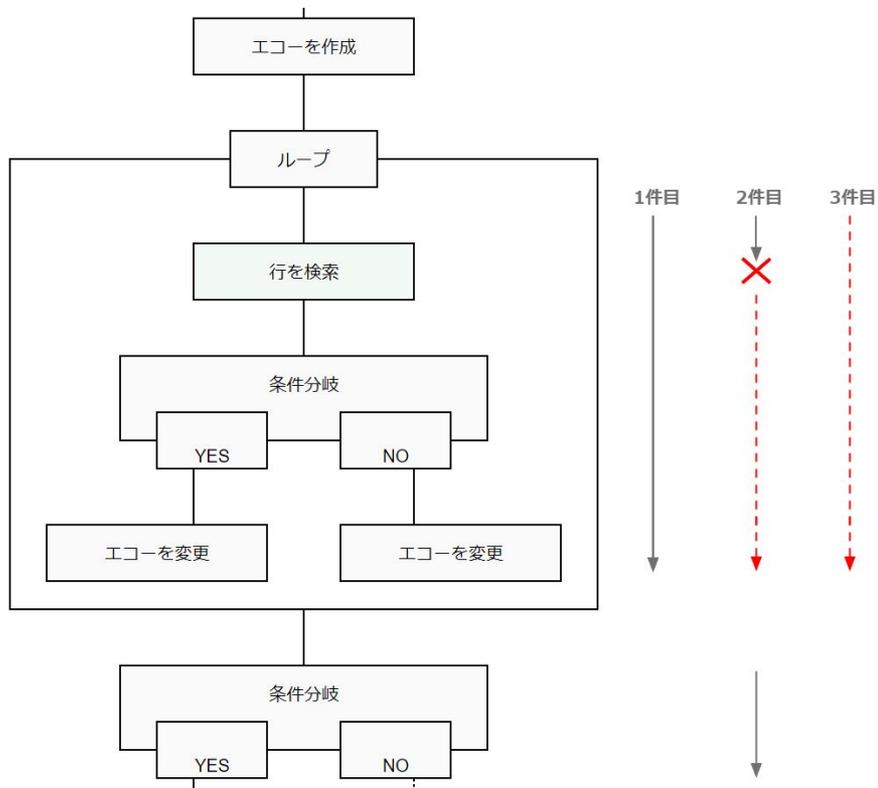
2 : 次のループ処理へスキップ (CONTINUE)

次の情報処理に移行する。
2 件目でエラーが発生した場合、3 件目の処理に移行。

3 : フレーズの実行を中止する (TERMINATE)

フレーズの実行自体を停止する。

ループ



ループ内でエラーが発生したときの制御

1: ループを抜ける (BREAK)

その後のループ内の処理は行われない。
次のノートの処理に移行する。

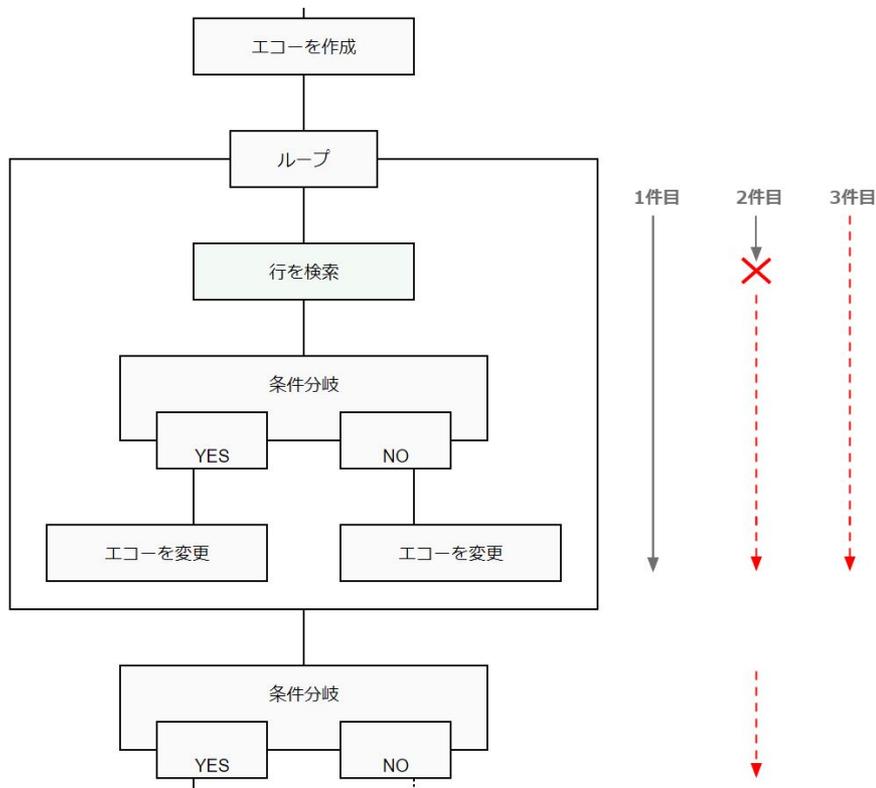
2: 次のループ処理へスキップ (CONTINUE)

次の情報処理に移行する。
2件目でエラーが発生した場合、3件目の処理に移行。

3: フレーズの実行を中止する (TERMINATE)

フレーズの実行自体を停止する。

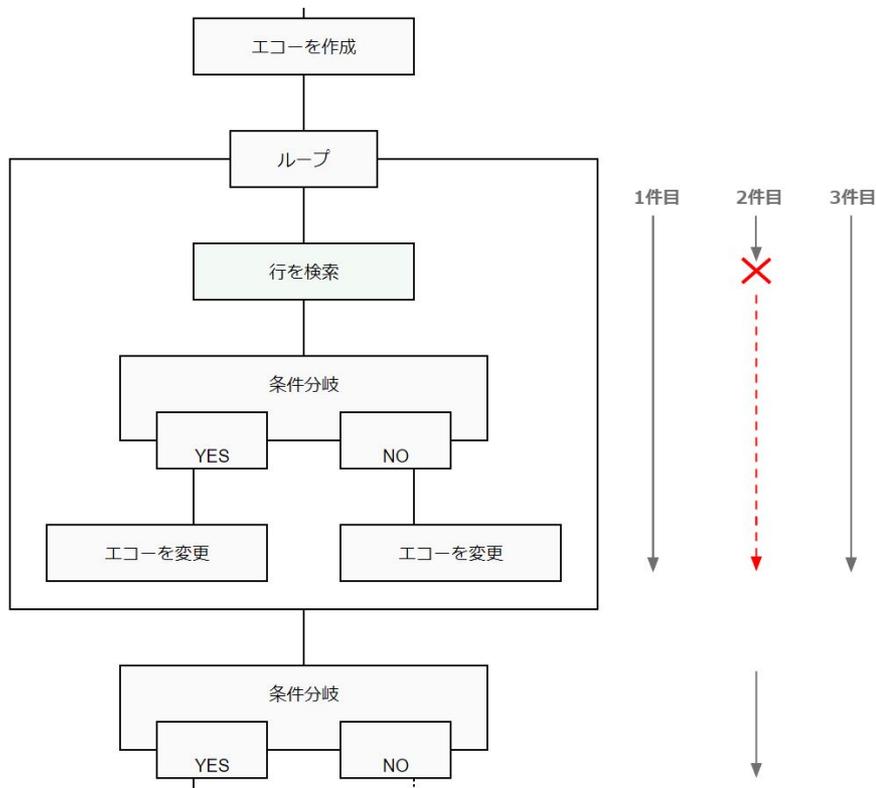
ループ



ループ内でエラーが発生したときの制御

- 1: ループを抜ける (BREAK)**
その後のループ内の処理は行われ
ない。次のノートの処理に移行する。
- 2: 次のループ処理へスキップ (CONTINUE)**
次の情報処理に移行する。
2件目でエラーが発生した場合、3件目の処理に移行。
- 3: フレーズの実行を中止する (TERMINATE)**
フレーズの実行自体を停止する。

ループ



ループ内でエラーが発生したときの制御

- 1: ループを抜ける (BREAK)**
その後のループ内の処理は行われ
ない。次のノートの処理に移行する。
- 2: 次のループ処理へスキップ (CONTINUE)**
次の情報処理に移行する。
2件目でエラーが発生した場合、3件目の処理に移行。
- 3: フレーズの実行を中止する (TERMINATE)**
フレーズの実行自体を停止する。

ループ



ループの中にループが必要なケース

- ・ 楽天市場 RMS の受注から送付先の情報を取得する
 - ・ ネクストエンジンの受注伝票から明細行を取得する
 - ・ Shopify の注文からアイテムの情報を取得する
- など

第 3 部

ノート解説

条件で処理を分岐

条件で処理を分岐

The screenshot shows a flow editor window titled "フロー 条件で処理を分岐" (Flow: Branch processing based on conditions). It features a "メモを残す" (Save memo) button in the top right. The main area is labeled "分岐条件" (Branching condition) and contains the instruction "1項目以上設定してください。" (Please set at least one item). Below this is a button labeled "+ OR 条件を追加" (+ Add OR condition). At the bottom, there are two output options: a green "YES" button with a "+" icon below it, and a white "NO" button with a "-" icon below it.

役割

- ・ 取得した情報を、条件を設定して比較することができる。
- ・ 条件に合致する場合（YES に進む）、条件に合致しない場合（NO に進む）、それぞれで異なる処理を実行できる。
- ・ 比較できるのは、同じ型のデータ。（数値と数値、文字列と文字列 など）

設定方法

- ・ 「OR 条件」、「AND 条件」を設定する。

条件で処理を分岐

【実際に設定できる条件】

■文字列

- ・ A と B が一致する
- ・ A と B が一致しない
- ・ A が B を含む
- ・ A が B を含まない
- ・ A が B で始まる
- ・ A が B で終わる
- ・ A が空文字列である
- ・ A が空文字列でない

■数値

- ・ $A = B$
- ・ $A \neq B$
- ・ $A < B$
- ・ $A \leq B$
- ・ $A > B$
- ・ $A \geq B$

■配列

- ・ A が B を含む
- ・ A が B を含まない

■その他

- ・ A が null である
- ・ A が null でない

条件で処理を分岐

Q. 「OR 条件」と「AND 条件」では、どういう違いがある？

A. 「どちらかを満たせば OK」か、「どちらも満たせば OK」かの違いです。

OR 条件

- ・ 「高額購入」タグか、「決済未完了」タグの、どちらかのタグを持っていれば合致。

AND 条件

- ・ 「高額購入」タグも、「決済未完了」タグも、どちらのタグも持っていれば合致。

The image shows two screenshots of a configuration interface. The top screenshot is for an OR condition. It has a dropdown menu for '条件の種類*' (Condition Type) set to 'A が B を含む (配列)' (A contains B (array)). Below it, there are two input fields: 'A*' with a green 'タグ' (tag) button and a close icon, and 'B*' with a text input containing '高額購入' (high purchase) and a menu icon. The bottom screenshot is for an AND condition. It has the same dropdown menu. Below it, there are two input fields: 'A*' with a green 'タグ' (tag) button and a close icon, and 'B*' with a text input containing '決済未完了' (payment not completed) and a menu icon. A horizontal line with the word 'AND' is positioned between the two screenshots.

第3部

ノート解説

情報を更新するノート

情報を更新するノート

取得

各システムから
情報を取得する



受注伝票を検索



受注を検索



行を検索



レポートドキュメントを取得

加工

情報を取捨選択、
変換する



条件で処理を分岐



エコーを変更

処理

情報を処理する



商品の在庫情報を更新



受注伝票を更新



商品情報を更新



行を追加

情報を更新するノート



商品の在庫情報を更新

- ・ 対象（商品コード）を指定する
- ・ 更新内容（在庫数）を指定する

コネクション* ⓘ

Yahoo! JAPAN

ストアアカウント*

商品コード*

個別商品コード

在庫数*

情報を更新するノート

受注伝票を更新

- ・ 対象（受注伝票）を指定する
- ・ 更新内容を指定する

[ヘルプセンターの記事](#)

コネクション* 

ネクストエンジン

伝票番号* 



更新内容（基本項目）

フィールド* 更新方法*

備考 上書き

値*

test

+ 項目を追加

情報を更新するノート

RMS

商品情報を更新

- ・ 対象（商品管理番号）を指定する
- ・ 更新の内容を指定する

[ヘルプセンターの記事](#)

楽天市場 RMS コネクション * ⓘ

楽天市場 RMS

商品管理番号 *



更新内容

1 項目以上設定してください。

+ 項目を追加

第 4 部

テンプレートを読み解く

デモンストレーション

- **ネクストエンジン | Google スプレッドシートの商品一覧をもとに、出荷元倉庫の受注分類タグを付与する**

[テンプレートはこちら](#)

[設定ドキュメントはこちら](#)